

令和5年(2023年)7月19日

保護者の皆様へ

枚方市立津田南小学校長

校長 松村 光庸

「気持ちの視覚化」及び「SNS相談事業」における「ぼーち」の導入について

平素は、本校の教育活動の推進にご理解と、ご協力いただきありがとうございます。

さて、このたび下記のとおり児童の「気持ちの視覚化」及び「SNS相談」ができるアプリ「ぼーち」((株)NTTデータ関西社製)の運用を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

記

【目的】

ICTを活用した、子どもが発するサインを逃さない仕組みづくりとして、子どもがより相談しやすくなる体制を整備し、さまざまな子どもの課題について、未然防止、早期発見、早期解決の一助にするため。

【ぼーちの概要】

○児童の日々の気持ちの視覚化

- ・その日の気持ちを選択し、タブレットに登録

○児童による日々の気持ちの振り返り

- ・児童自身がタブレットに登録された情報を客観的に振り返る

○教職員による児童の気持ちの変化の見守り

- ・教職員が視覚化された児童の心情の変化を把握
- ・可視化された情報をもとに個別の実態を捉え、各々に応じた支援の実現

○学校外の大人への相談

- ・市の福祉機関の資格等を持った相談員及び枚方市教育委員会が対応

【期待できる効果】

- (1) 子どもの気持ちが見える化される
- (2) 学校全体で見守る体制が強化される
- (3) 児童生徒のセーフティーネットができる
- (4) 学校以外に相談できる選択肢ができる

【その他】

- ・お子様のタブレットに「ぼーち」のアプリが画面上に出ていますので、保護者の皆さまもご確認ください。